

いろは和讃

松 濤 基 作 曲
鈴 木 錦 承 振 付

準備	スズ2本柄に五色のテープをつけ座前におく	
唱え奉る いろは	合掌	
御和讃に	両手に座前の鈴をとり静かに立って体前肩の高さに伸ばす	
歌	手	足
い	同時に右手斜前方に出し鈴を左水平にたおし	右足踵を右斜前方に出し
ー っ	体を斜右に廻して目は鈴に注ぐ	
し	右手右斜前上方にあげ同時に鈴を振ってなら	左足を右足横に揃え体斜右向き
ん	す 目は鈴に注ぐ	
き	「一心」の動作と同要領を左方に行う	
ー		
み よ	(体斜左向き)	
う		
あ	「一心」を繰り返す	
み		
だ ー ぶ ー	(体斜右向き)	
つ	「きーみよう」を繰り返す	
ー		
ー	(体斜左向き)	
(休)		
二	左手掌を上にして左肩の高さに伸し右手肘	右足より右廻り(一呼間に一步)して
世	を軽くまげて掌をふせる如くして肩の高さに	八歩目にもとの位置にもどる
あ	左に出し一呼間一步に合せて八回右左同時	
ん	に鈴を振りならす	
ら		
ー		
く		
の ー		

歌	手	足
ご	両手鈴を直立して体前に交差する(右手を体	両膝を軽く屈し
せ	に近く)	
い 	両手下横より上方にあげ鈴を振る(目は鈴に	膝を伸す
が	注ぐ)	
ん	「ごせいが」の動作を繰り返す	
(休)		
さ	右手右斜後上方に伸し左手は左斜前下方に	右足を右斜後方に引き右膝をまげ
ん 	伸す 目は左手に注ぐ	(身体斜右)
じ	両手両側方より円を描き頭上に交差する	左足を右足に引きつけて直立する
ん	目は鈴に注ぐ(右手前)	
ぐ	両手両側方肩の高さにおろし	直立のまま
そ	目は左手に注ぐ	
く	頭上に両手交差する	
の		
しゅ	「三心」と同じ動作を左方に行う	「三心」と同じ動作を左方に行う
ぎよ		(身体斜左)
う	(左手前にして交差)	
じゃ		
は	「ぐそくの」動作を左方に行う	直立のまま
(休)		

歌	手	足
し	両手体前肩の高さに持し	左足より八歩左廻りして
｜	鈴をまっすぐに立てる	正面となる
し よ		
う		
そ		
あ		
く ｜		
の		
み	両手前方に伸し(掌上)	右足より二歩(二呼間に一歩)前進し
を		
す	徐々に上方に捧げ	
て		
て	両手肘を張り体胸前に倒す	右膝をつき
｜		
｜	次に手首をまげて上方に捧げる	
(休)		
静かに座って鈴を座前におき合掌する		

ポイント注意

- 【いーっしん】 手の動き。腕は曲げないようにしてください。
- 【あみだーぶー】 鈴のならし方。鈴をならす時は内側にひねります。
- 【せーがーんー】 手と鈴。ここだけは鈴の円を直立させて手首を交差させます。